

表 2019年8月18日の独立記念集会演説(ナショナルデー・ラリー)の主なポイント

1. 人口高齢化に向けた支援	・退職年齢を現行の62歳から2022年に63歳、2030年までに65歳に引き上げ。再雇用年齢の上限を現行の67歳から、2022年に68歳、2030年までに70歳に引き上げ。公務員については1年前倒しで2021年から実行。 ・55歳以上の労働者の中央積立基金(CPF)への拠出率を2021年から2030年までに段階的引き上げ。
2. 教育支援	・学齢前児童の教育支援の対象となる世帯収入の上限を月7,500ドルから、同1万2,000ドルへ引き上げ。政府の支援対象となる学齢児童を全体の50%から80%へ引き上げ。 ・低所得者向けの大学の授業料補助を授業料の50%から75%に引き上げ。高等専門学校については同80%から95%に引き上げ。
3. 地球温暖化対策と南部広域ウォーターフロント開発	・地球温暖化に伴う海面上昇の低地への対策、向こう100年で推定1,000億ドル以上かかる見通し。 ・コンテナ・ターミナル跡地である南部広域ウォーターフロント地域とブラニ島の再開発、公共・民間住宅(約9,000戸)とオフィス、観光アトラクション、リゾートなど新規開発へ。
4. 米中貿易摩擦と景気対策	・米中貿易摩擦がさらに悪化することになれば、世界とシンガポールにとって「悪いニュース」に。 ・国内経済が大きく減速したものの、現段階では直ちに景気対策を実行する段階ではない。

(出所)2019年8月18日付独立記念集会演説を基にジェトロ作成